

【別冊】各市町村の状況 — 倉吉市

1. 概要

人口総数	46,044人
高齢化率	34.8%

	国保	後期
被保険者数	8,980人	8,775人
加入率	19.5%	19.1%
平均年齢	55.1歳	82.8歳

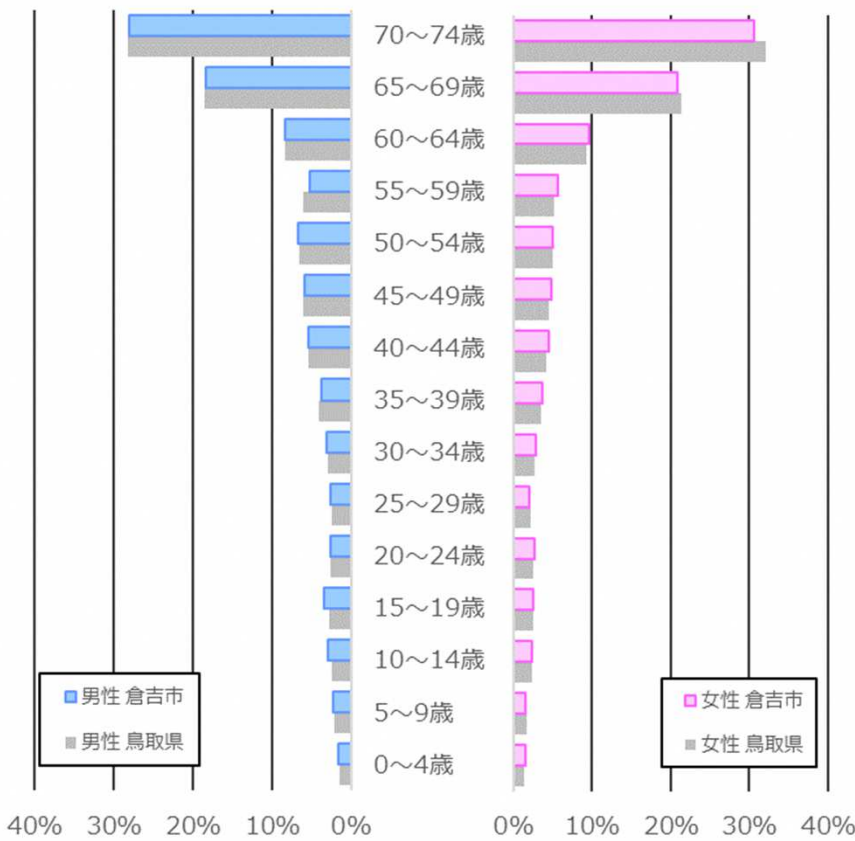
出典: KDB帳票No. 3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和6年度累計）

■ 人口ピラミッド（令和2年度）



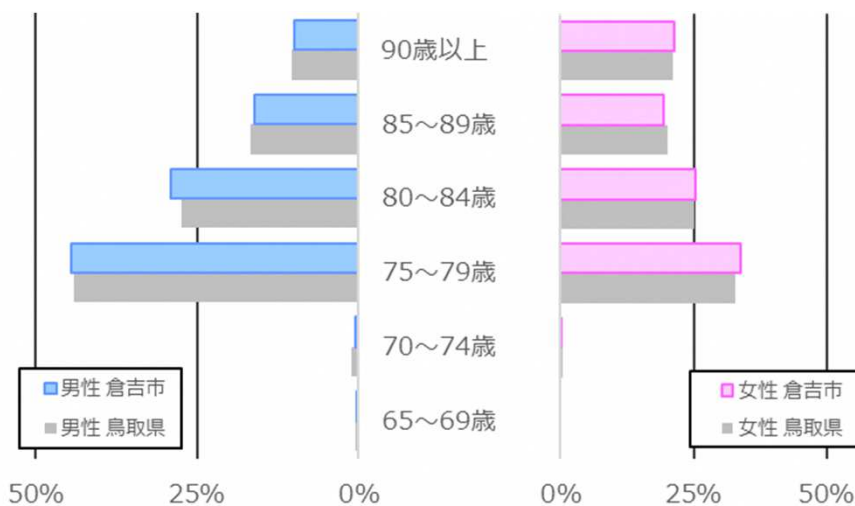
出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況（令和6年度累計）

国保 国保被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	72人	68人
5～9歳	102人	69人
10～14歳	129人	109人
15～19歳	152人	111人
20～24歳	118人	120人
25～29歳	116人	93人
30～34歳	136人	128人
35～39歳	168人	165人
40～44歳	236人	202人
45～49歳	260人	217人
50～54歳	294人	228人
55～59歳	232人	256人
60～64歳	369人	439人
65～69歳	812人	946人
70～74歳	1,241人	1,392人
合計	4,437人	4,543人

後期 後期被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
65～69歳	4人	0人
70～74歳	15人	13人
75～79歳	1,492人	1,832人
80～84歳	971人	1,370人
85～89歳	539人	1,053人
90歳以上	333人	1,153人
合計	3,354人	5,421人

出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況 (令和6年度累計)

2. 標準化死亡比 (SMR) 説明②

■ 主要死因別標準化死亡比SMRの推移

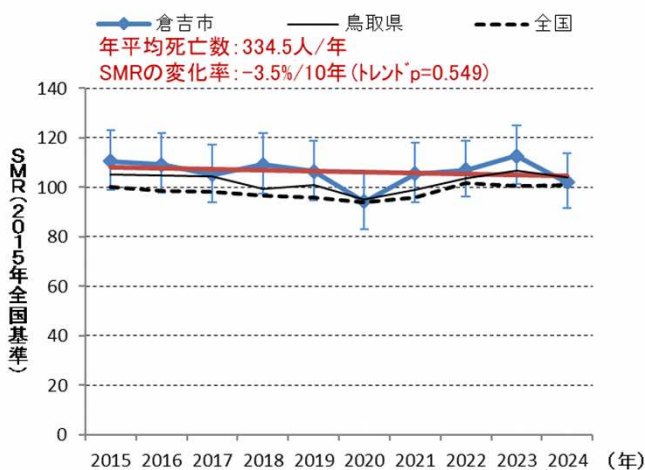
- 2015年の全国を100として、**青色** = 毎年の値、**赤色** = それを平滑化した値（「10年間の値をプールしてSMRを計算し、経年的な変化の傾きを付けたもの」と比較しています。主に赤色の方に注目して見ます。
- トレンドpは、「変化が偶然である確率」を意味し、 $p < 0.05$ の場合に、偶然変動とはみなせない変化があると判断します。

※全国（2015年）= 100よりも上方で推移していれば全国（2015年）よりも死亡者の割合が高く、下方で推移していれば低いことを意味します。

※全国（黒線）と同じ傾きで推移していれば全国と同じ状況にあり、全国が右肩上がりとなっている中で、全国よりも傾きが急な右肩下がりであれば、全国よりも早いペースで改善していることとなります。また、右肩上がりであれば、全国よりも改善のペースが遅いまたは悪化していることを示すこととなります。

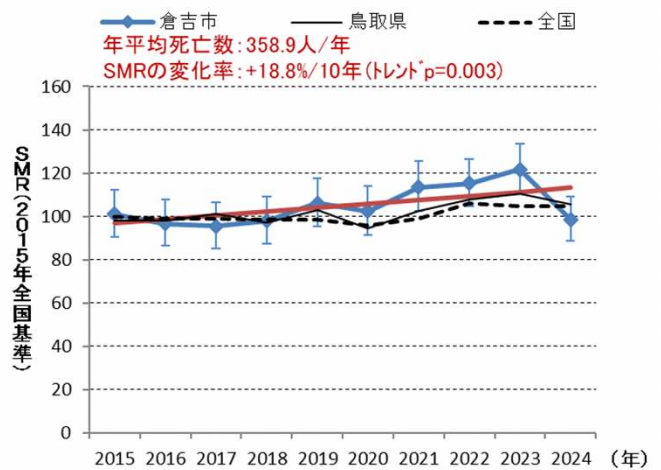
■ 【男性】

【全死因】

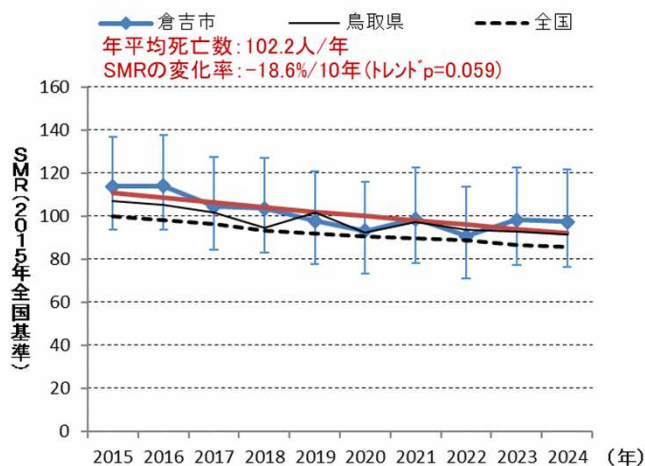


■ 【女性】

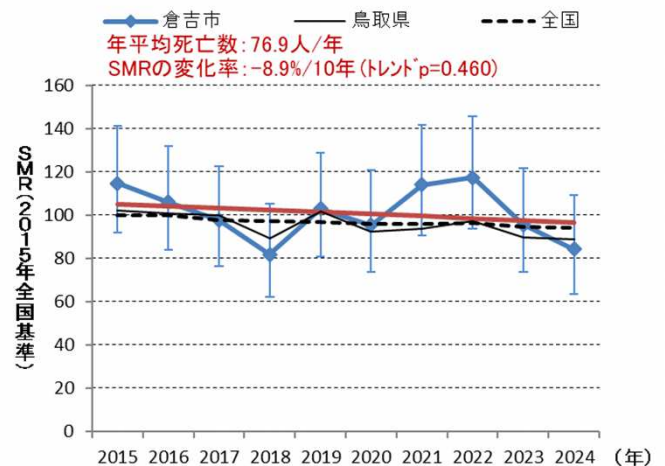
【全死因】



【悪性新生物】

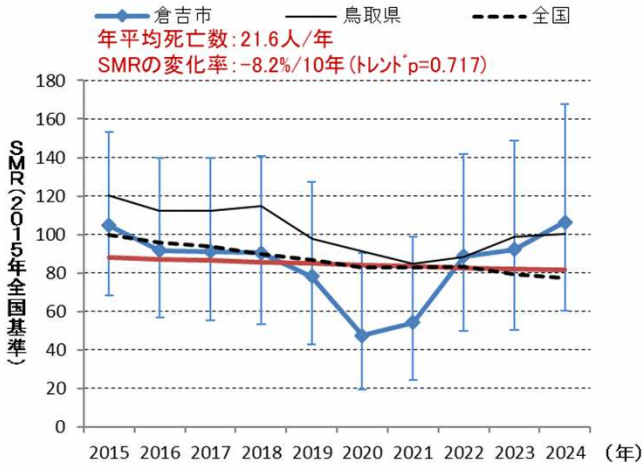


【悪性新生物】



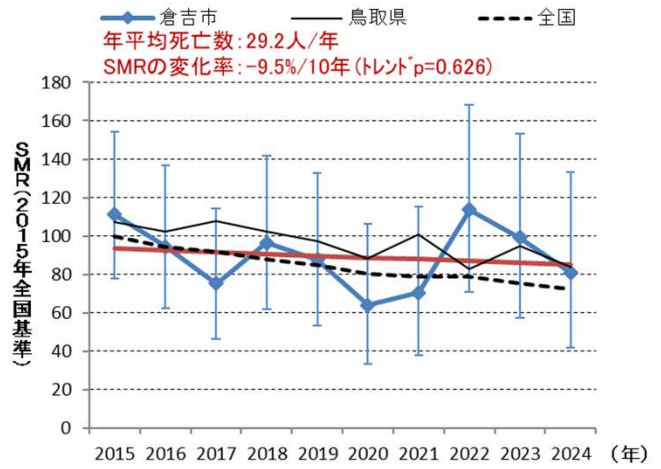
■【男性】

【脳血管疾患】

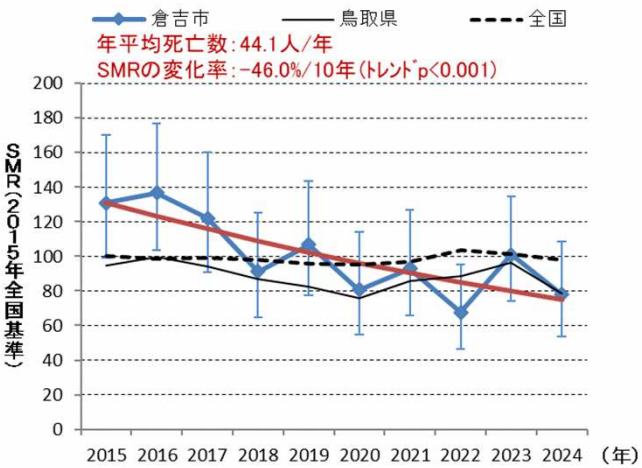


■【女性】

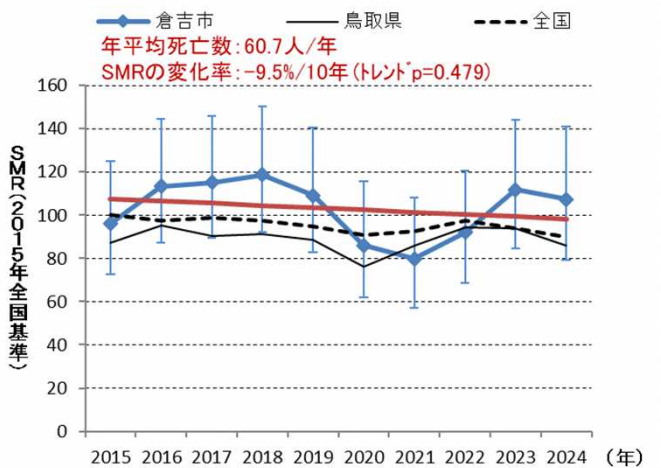
【脳血管疾患】



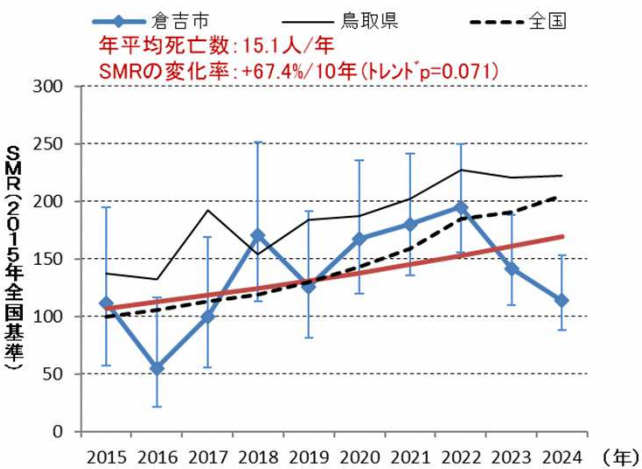
【心疾患(高血圧性を除く)】



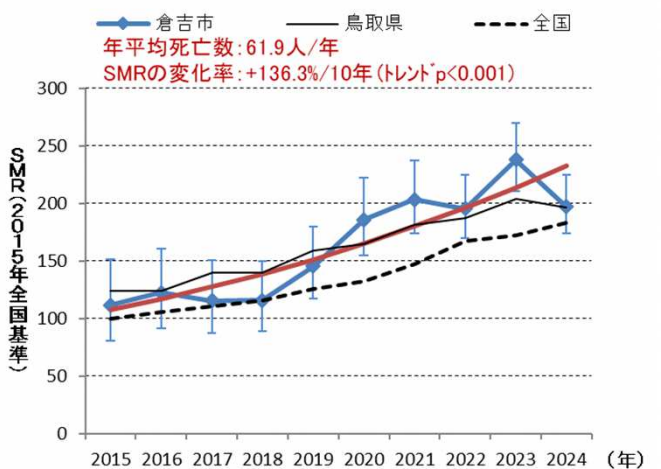
【心疾患(高血圧性を除く)】



【老衰】



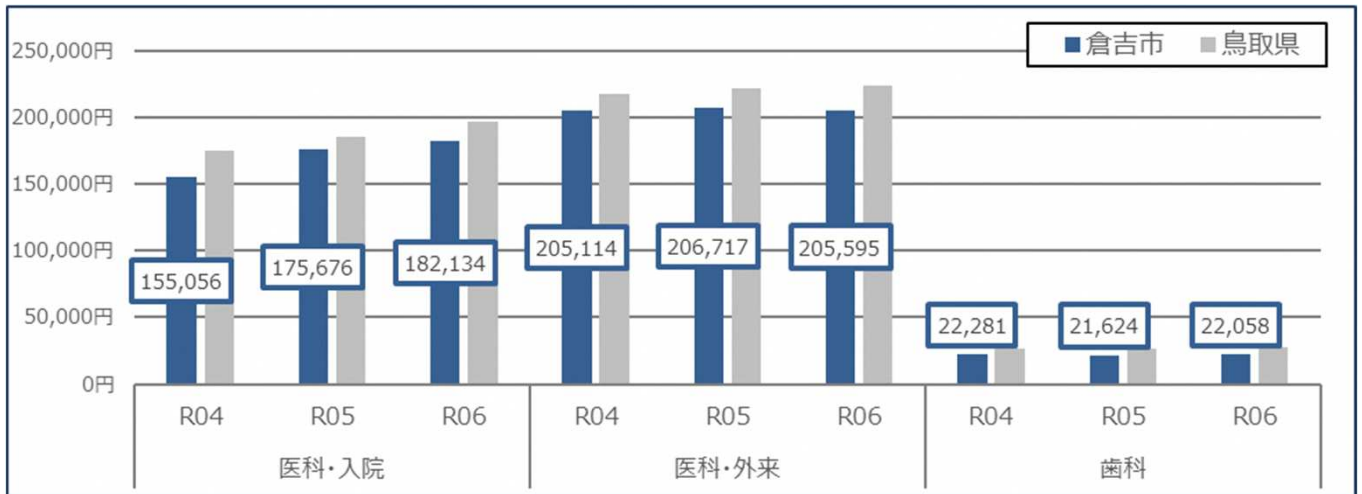
【老衰】



出典: 国立保健医療科学院
 地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握の為に参考データ・ツール集
 「全国市町村別主要死因別標準化死亡比 (SMR) の推移2015~2024」抜粋

3. 医療費の状況

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

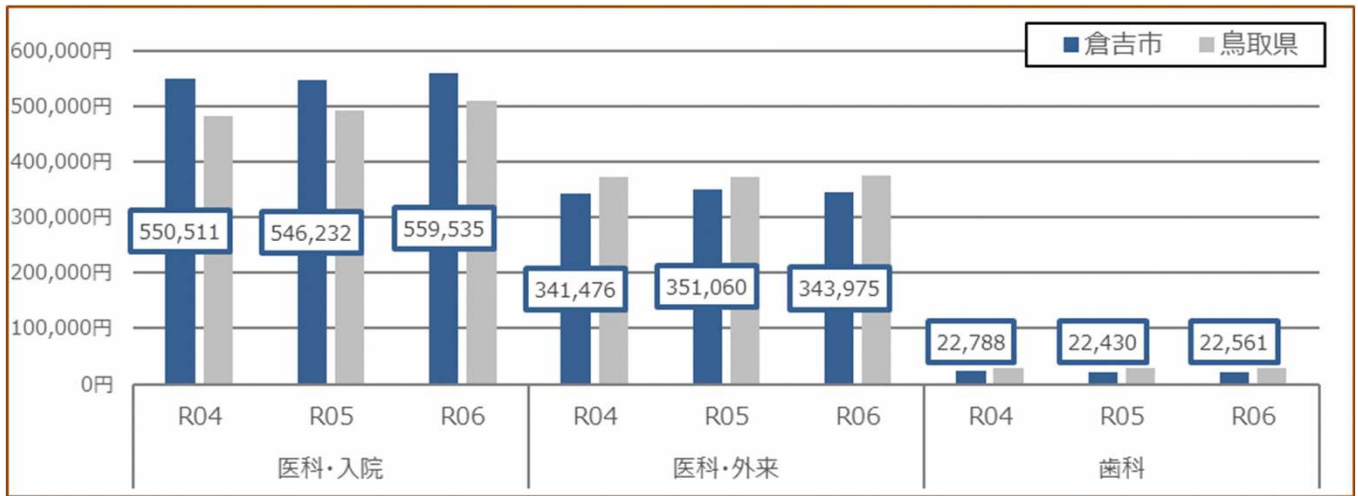
国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3 年平均)

(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来+調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	1,489 15位	519 15位	4,789 12位	3,785 12位
2	新生物<腫瘍>	46,322 1位	29,387 1位	35,939 1位	31,548 1位
3	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2,800 12位	495 16位	435 16位	1,139 16位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,175 11位	2,325 11位	28,016 3位	24,986 2位
5	精神及び行動の障害	18,638 4位	18,229 2位	14,673 6位	15,861 6位
6	神経系の疾患	12,321 7位	10,723 5位	10,981 7位	12,324 8位
7	眼及び付属器の疾患	3,504 10位	3,989 10位	7,041 10位	9,113 10位
8	耳及び乳様突起の疾患	105 18位	97 18位	995 15位	1,261 15位
9	循環器系の疾患	38,262 2位	16,321 4位	27,152 4位	19,822 4位
10	呼吸器系の疾患	19,831 3位	4,689 8位	15,699 5位	12,815 7位
11	消化器系の疾患	12,982 6位	5,315 7位	10,715 8位	10,462 9位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	2,598 13位	1,700 13位	5,497 11位	3,839 11位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	16,966 5位	17,458 3位	9,050 9位	20,768 3位
14	尿路性器系の疾患	8,670 8位	4,161 9位	35,066 2位	15,965 5位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0 19位	529 14位	1 19位	105 17位
16	周産期に発生した病態	1,153 16位	166 17位	16 18位	48 19位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	242 17位	23 19位	237 17位	52 18位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	2,301 14位	2,283 12位	1,748 14位	1,963 14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,563 9位	10,312 6位	2,653 13位	2,421 13位
合計		199,921 -	128,721 -	210,704 -	188,279 -

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析 (大分類) (令和4年度~令和6年度)

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

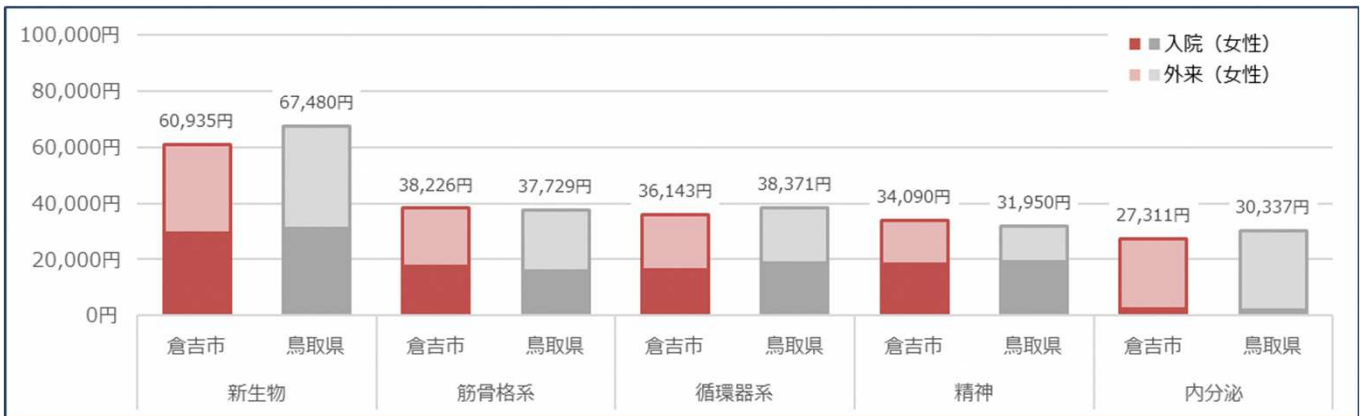
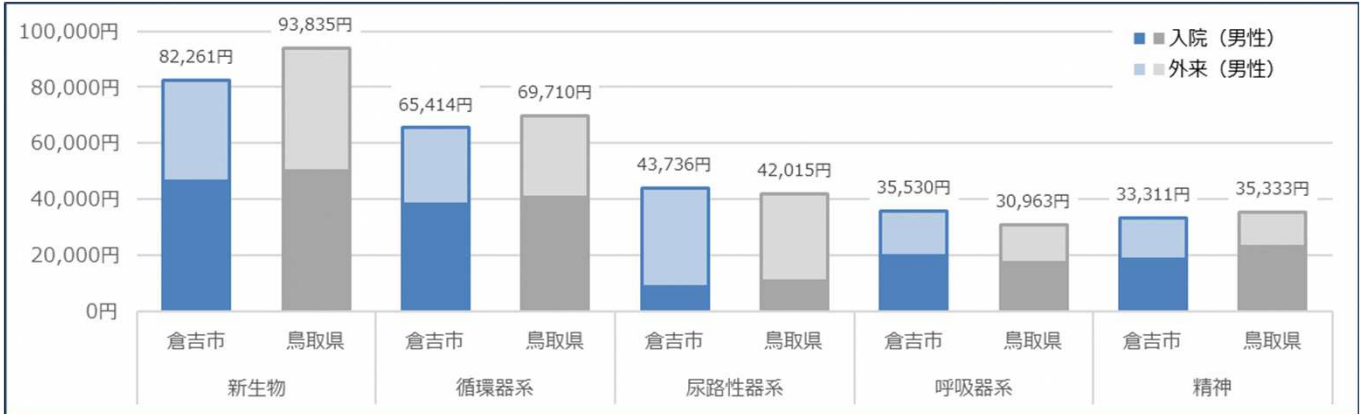
後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3 年平均)

(単位:円)

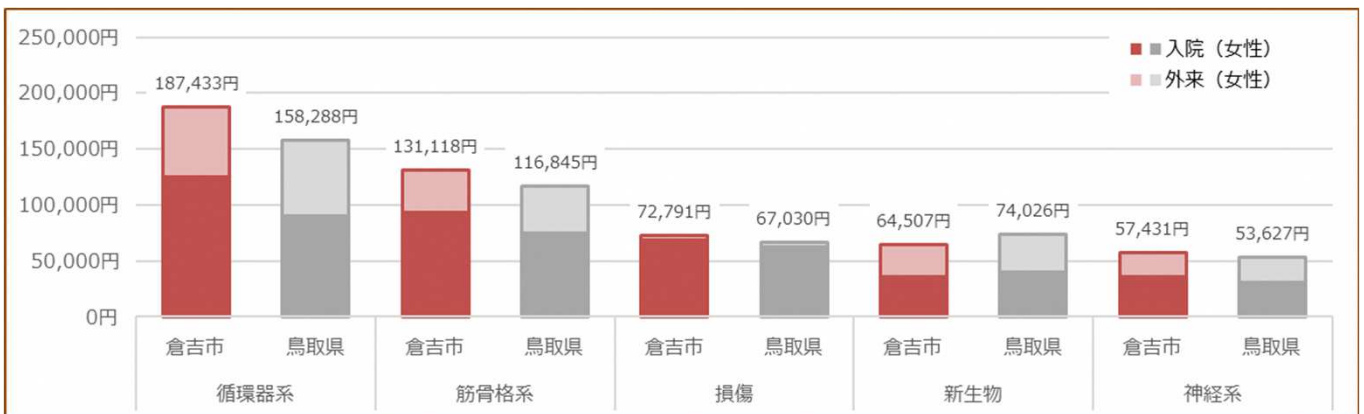
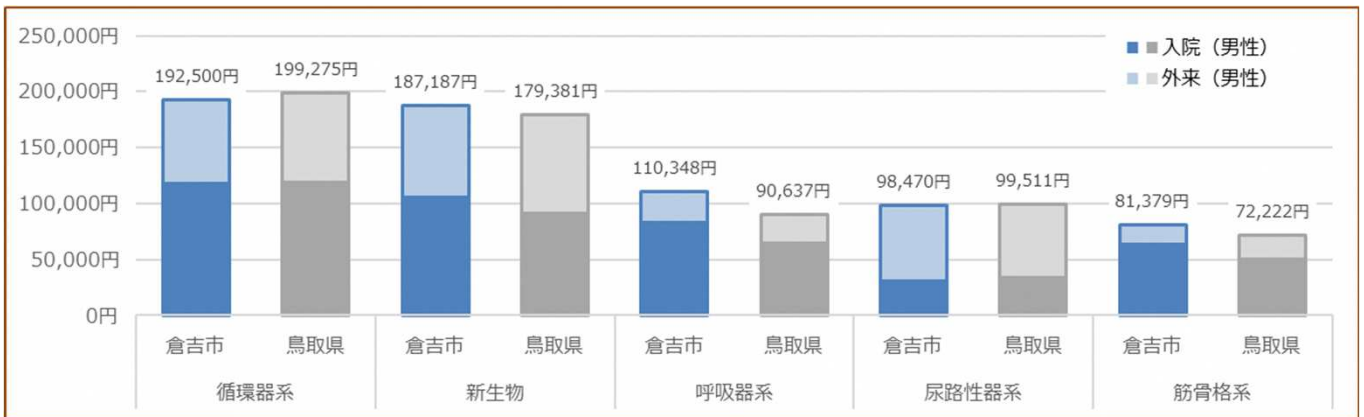
番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来+調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	4,992	15位	5,267	13位
2	新生物<腫瘍>	105,042	2位	36,098	6位
3	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	7,303	13位	3,111	14位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	8,319	11位	7,960	11位
5	精神及び行動の障害	18,200	9位	22,105	8位
6	神経系の疾患	40,922	5位	36,273	5位
7	眼及び付属器の疾患	7,697	12位	7,034	12位
8	耳及び乳様突起の疾患	23	16位	670	16位
9	循環器系の疾患	117,506	1位	124,795	1位
10	呼吸器系の疾患	83,356	3位	39,811	4位
11	消化器系の疾患	28,587	8位	23,630	7位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	5,249	14位	2,509	15位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	63,738	4位	92,928	2位
14	尿路性器系の疾患	30,682	7位	17,329	9位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	17位	0	18位
16	周産期に発生した病態	0	17位	0	18位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	17位	7	17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	10,972	10位	13,192	10位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	40,894	6位	68,586	3位
合計		573,481	-	501,302	-

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析 (大分類) (令和4年度~令和6年度)

国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



※傷病名不詳等の疾病分類できないレプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和4年度～令和6年度）

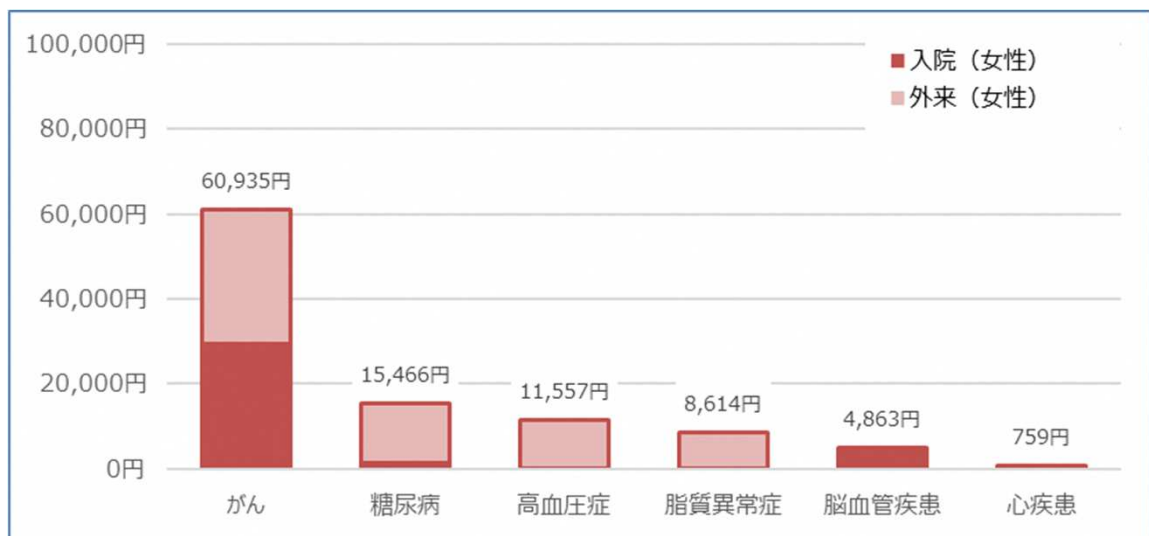
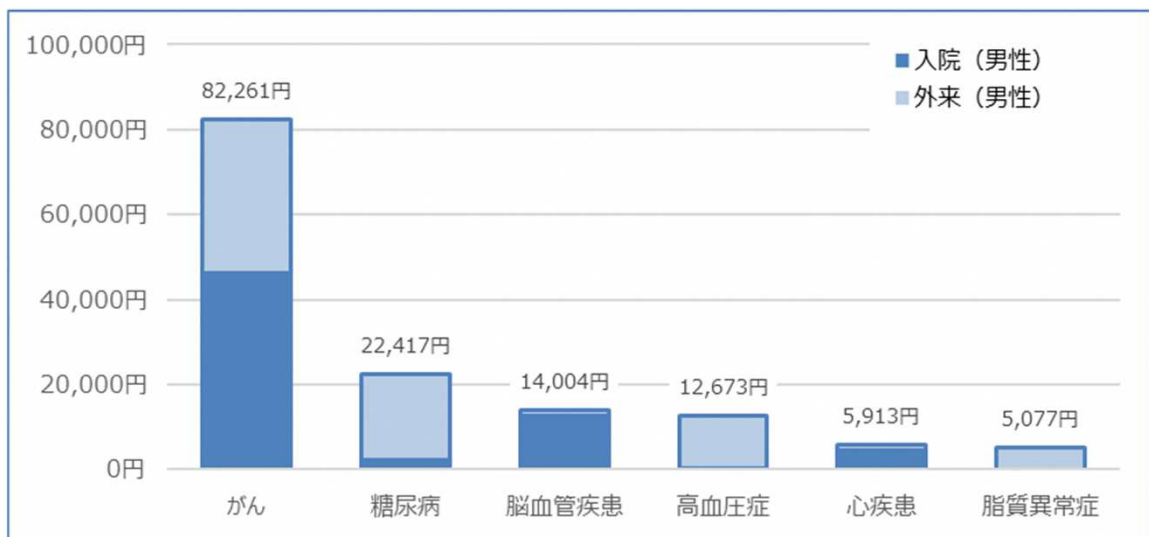
国保

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位：円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	389	5位	205	5位	12,284	3位	11,352	3位
糖尿病	2,323	4位	1,427	3位	20,094	2位	14,039	2位
脂質異常症	34	6位	184	6位	5,043	4位	8,430	4位
心疾患	4,499	3位	325	4位	1,414	5位	434	6位
脳血管疾患	12,695	2位	4,170	2位	1,309	6位	693	5位
がん	46,322	1位	29,387	1位	35,939	1位	31,548	1位

出典：KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和4年度～令和6年度累計）



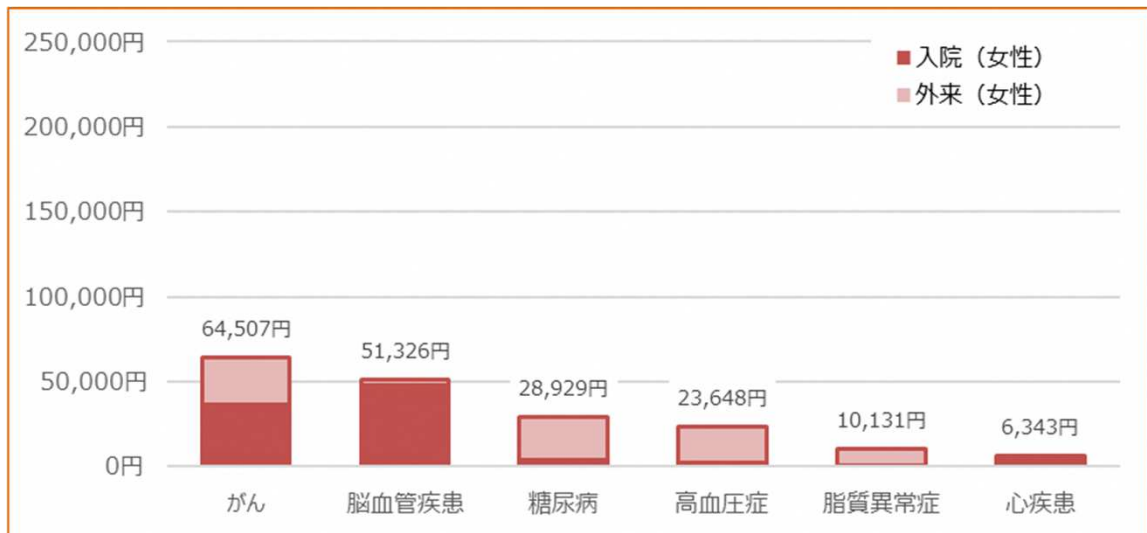
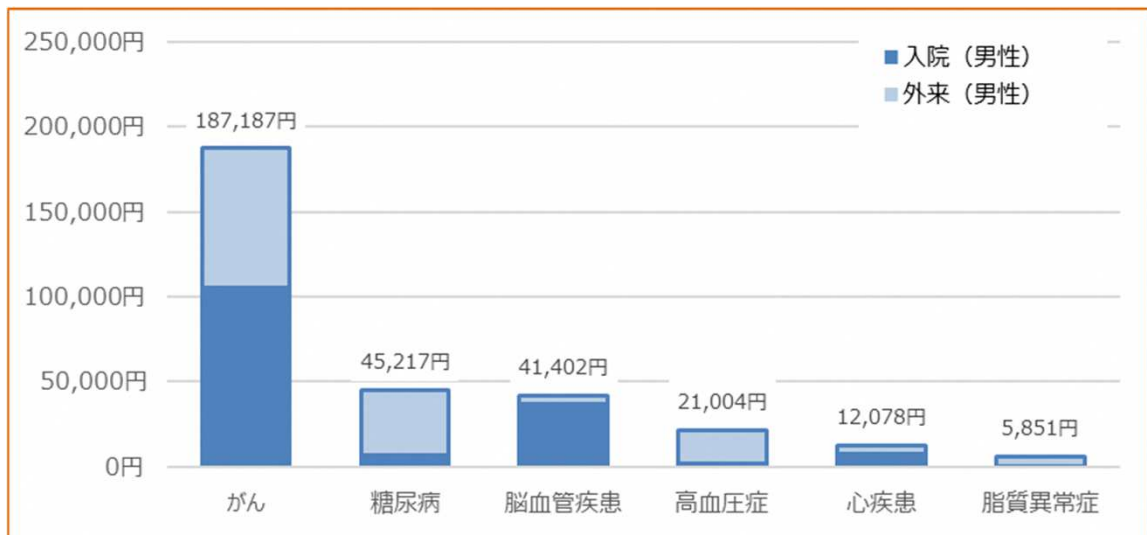
後期

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位：円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	1,726	5位	2,645	5位	19,278	3位	21,003	3位
糖尿病	6,721	4位	3,998	3位	38,496	2位	24,931	2位
脂質異常症	368	6位	546	6位	5,483	4位	9,585	4位
心疾患	7,532	3位	3,539	4位	4,546	6位	2,804	6位
脳血管疾患	36,724	2位	47,514	1位	4,678	5位	3,812	5位
がん	105,042	1位	36,098	2位	82,145	1位	28,409	1位

出典：KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和4年度～令和6年度累計）



国保 疾病中分類別被保険者1人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,381
2	脳梗塞	8,223
3	脊椎障害（脊椎症を含む）	5,895
4	腎不全	5,507
5	肺炎	5,073
6	虚血性心疾患	4,761
7	骨折	4,593
8	脳内出血	4,472
9	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,404
10	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	4,357

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	30,703
2	糖尿病	20,156
3	高血圧性疾患	12,284
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,560
5	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,941
6	脂質異常症	5,043
7	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,607
8	喘息	4,193
9	炎症性多発性関節障害	3,232
10	皮膚炎及び湿疹	3,137

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	関節症	8,696
2	骨折	8,191
3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,593
4	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	5,452
5	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	5,077
6	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,113
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	3,824
8	くも膜下出血	2,693
9	脳梗塞	2,612
10	脊椎障害（脊椎症を含む）	2,504

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	14,280
2	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	11,417
3	高血圧性疾患	11,352
4	腎不全	11,049
5	脂質異常症	8,430
6	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	7,103
7	炎症性多発性関節障害	5,950
8	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	5,661
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	4,952
10	骨の密度及び構造の障害	4,800

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析（中分類）（令和4年度～令和6年度）

後期 疾病中分類別被保険者1人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	肺炎	31,609
2	脳梗塞	30,667
3	骨折	24,165
4	腎不全	22,799
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	15,612
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,511
7	胃の悪性新生物<腫瘍>	12,771
8	パーキンソン病	11,184
9	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されな	10,972
10	関節症	9,481

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	52,898
2	糖尿病	39,047
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,641
4	高血圧性疾患	19,278
5	慢性閉塞性肺疾患	9,970
6	喘息	7,123
7	虚血性心疾患	5,760
8	脂質異常症	5,483
9	胃の悪性新生物<腫瘍>	4,964
10	前立腺肥大（症）	4,654

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	骨折	57,149
2	脳梗塞	40,417
3	骨の密度及び構造の障害	20,693
4	肺炎	17,542
5	関節症	17,256
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	13,288
7	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されな	13,192
8	アルツハイマー病	12,501
9	腎不全	10,004
10	パーキンソン病	7,791

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	25,504
2	腎不全	23,344
3	高血圧性疾患	21,003
4	骨の密度及び構造の障害	17,123
5	脂質異常症	9,585
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	8,699
7	乳房の悪性新生物<腫瘍>	6,437
8	関節症	6,352
9	炎症性多発性関節障害	6,300
10	パーキンソン病	5,768

国保

被保険者1人当たり高額レセプト疾病中分類別医療費及び被保険者千人当たりのレセプト件数（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8,469	20.7
2	脳梗塞	7,935	8.7
3	脊椎障害（脊椎症を含む）	5,707	5.3
4	腎不全	5,066	5.2
5	肺炎	4,714	5.8
6	脳内出血	4,362	5.1
7	虚血性心疾患	4,279	3.8
8	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,276	4.7
9	白血病	4,239	1.5
10	骨折	4,227	4.4

■【女性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	関節症	8,493	7.2
2	骨折	7,895	8.9
3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,353	14.8
4	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	5,020	10.5
5	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	4,860	5.9
6	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	3,949	5.6
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	3,717	3.5
8	くも膜下出血	2,667	1.4
9	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,453	3.5
10	脳梗塞	2,414	3.0

■【男性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	29,055	70.5
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	7,480	9.0
3	白血病	2,485	3.4
4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,217	2.1
5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,075	2.1
6	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	1,038	1.3
7	ウイルス性肝炎	966	0.6
8	皮膚炎及び湿疹	893	1.5
9	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	851	1.1
10	炎症性多発性関節障害	298	0.9

■【女性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	10,101	24.6
2	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	8,411	16.0
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	4,241	4.8
4	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	2,228	3.9
5	炎症性多発性関節障害	1,264	3.2
6	悪性リンパ腫	869	1.2
7	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	406	0.6
8	喘息	390	1.1
9	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	382	0.4
10	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	333	0.8

※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和4年度～令和6年度）

後期

被保険者1人当たり高額レセプト疾病中分類別医療費及び被保険者千人当たりのレセプト件数（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	肺炎	29,632	45.5
2	脳梗塞	29,136	38.7
3	骨折	23,097	25.2
4	腎不全	21,620	25.2
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	15,238	16.5
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,843	11.9
7	胃の悪性新生物<腫瘍>	12,256	12.9
8	パーキンソン病	10,842	15.3
9	関節症	9,264	10.1
10	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	8,246	8.9

■【女性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	骨折	55,323	63.0
2	脳梗塞	38,845	49.3
3	骨の密度及び構造の障害	19,453	26.4
4	関節症	16,594	17.5
5	肺炎	16,386	24.2
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	12,723	15.8
7	アルツハイマー病	11,810	21.4
8	腎不全	9,231	10.6
9	パーキンソン病	7,364	10.5
10	脳内出血	6,937	9.6

■【男性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	45,388	111.0
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	16,863	22.7
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	2,259	3.8
4	悪性リンパ腫	2,121	2.3
5	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	1,834	1.8
6	結腸の悪性新生物<腫瘍>	1,459	1.8
7	喘息	1,406	3.3
8	白血病	1,263	1.8
9	炎症性多発性関節障害	843	2.3
10	乳房の悪性新生物<腫瘍>	702	1.7

■【女性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	18,102	45.9
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,931	8.4
3	乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,177	6.5
4	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,915	1.9
5	炎症性多発性関節障害	1,579	4.0
6	胃の悪性新生物<腫瘍>	1,260	1.6
7	ウイルス性肝炎	960	0.6
8	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	489	0.7
9	結腸の悪性新生物<腫瘍>	399	0.6
10	白血病	356	0.8

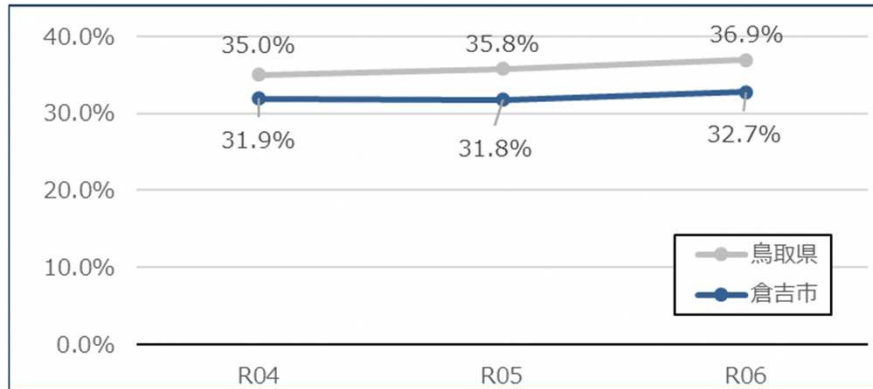
※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和4年度～令和6年度）

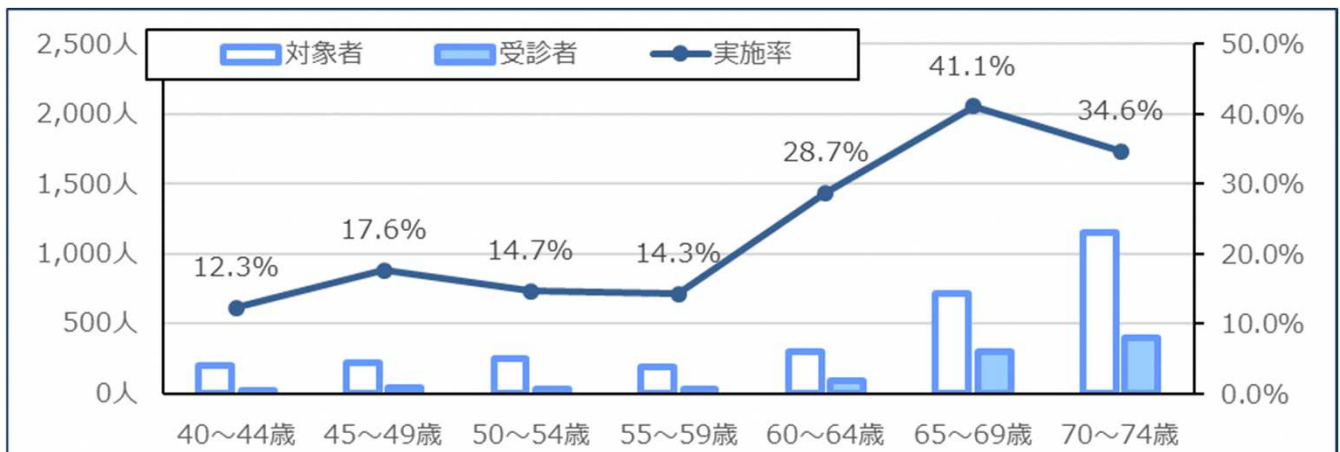
4. 健康診査の状況

国保 特定健康診査実施率

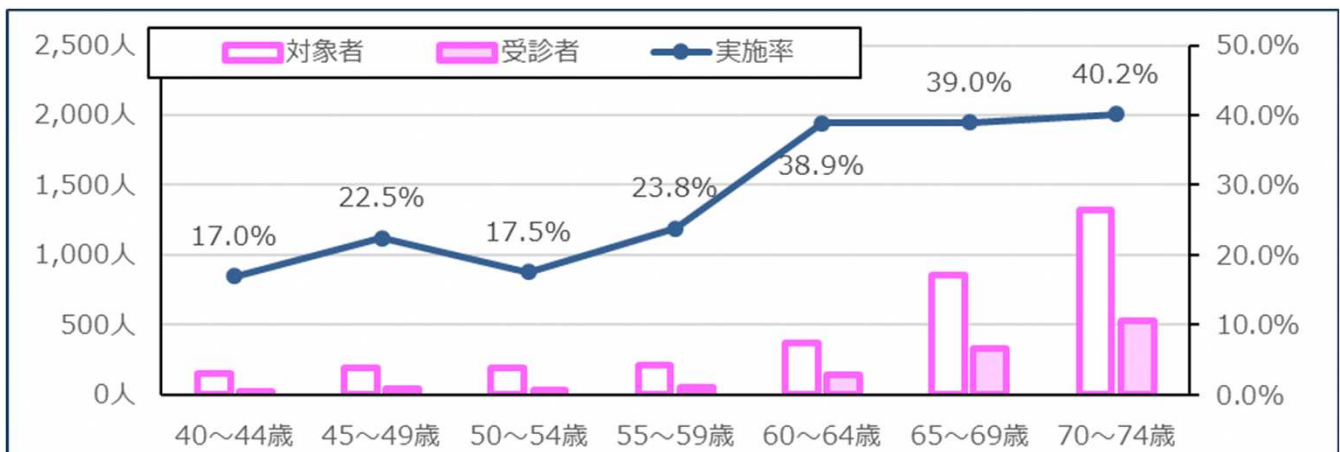
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R04	6,957人	2,221人	31.9%	35.0%	37.5%
R05	6,537人	2,077人	31.8%	35.8%	38.2%
R06	6,325人	2,069人	32.7%	36.9%	-



国保 【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況 (令和6年度)



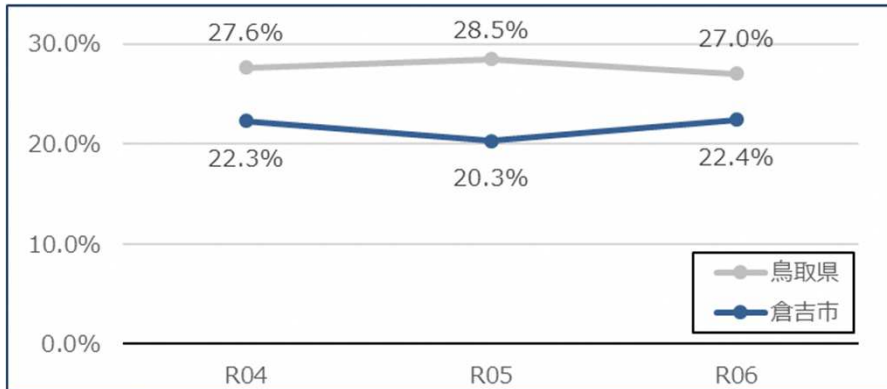
国保 【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況 (令和6年度)



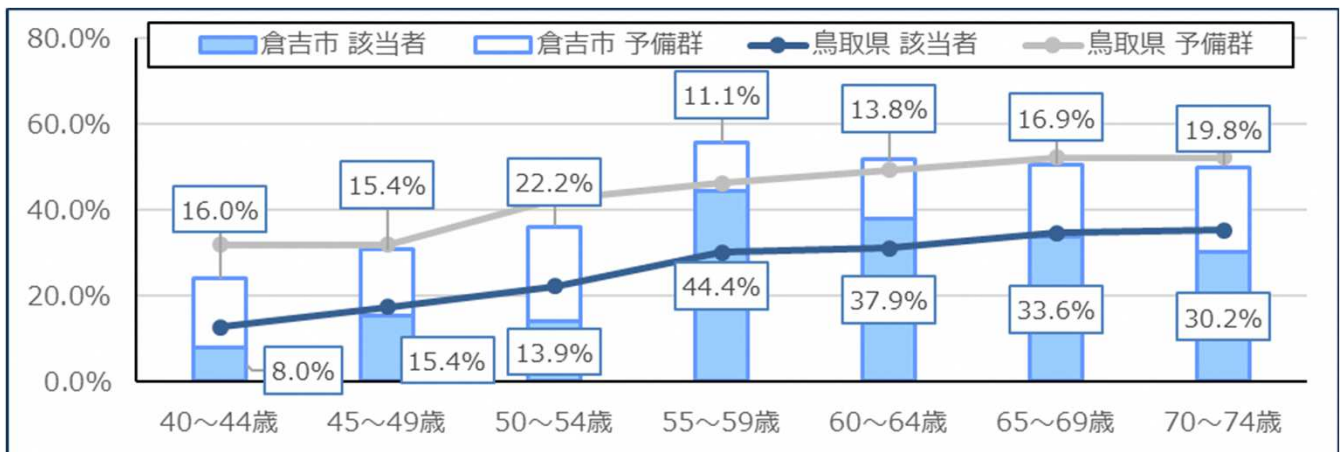
出典:特定健診データ管理システム法定報告資料(各年度)
国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保 特定保健指導実施率

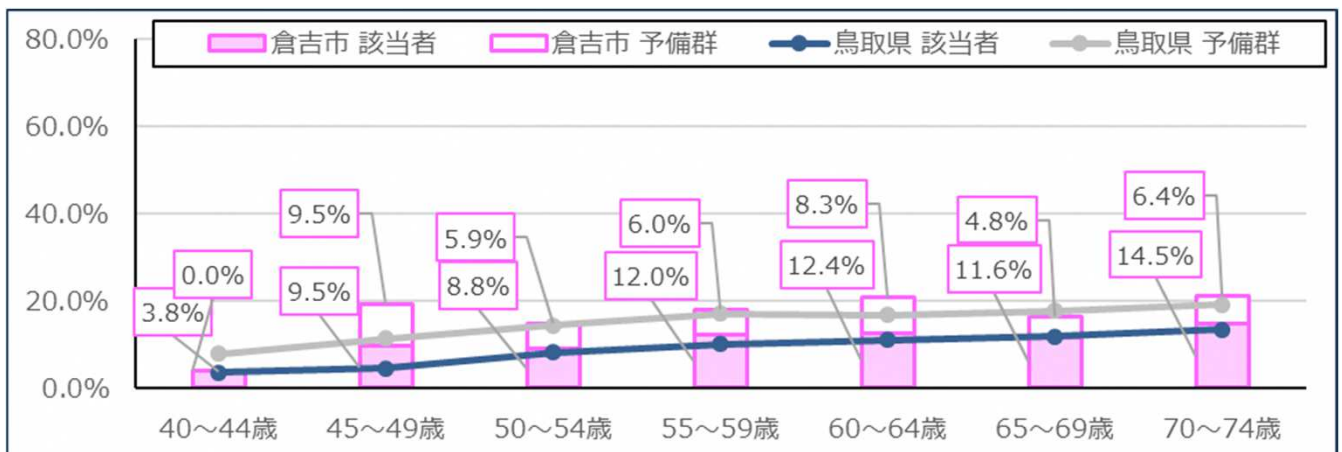
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R04	238人	53人	22.3%	27.6%	28.8%
R05	217人	44人	20.3%	28.5%	29.1%
R06	214人	48人	22.4%	27.0%	-



国保 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和6年度）



国保 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和6年度）



出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保 特定健診の質問票回答状況

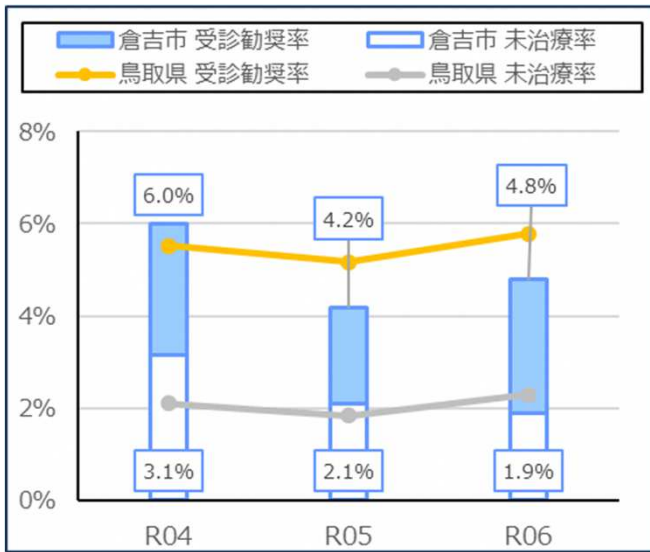
特定健診の質問票		男性		女性	
		倉吉市	標準化比	倉吉市	標準化比
服薬	高血圧症	40.9%	90.5	32.0%	99.1
	糖尿病	9.6%	*71.7	5.8%	88.8
	脂質異常症	23.1%	*84.5	33.0%	99.4
既往歴	脳卒中	5.2%	108.8	3.3%	*144.1
	心臓病	7.5%	85.4	4.0%	103.8
	慢性腎臓病・腎不全	1.5%	115.4	0.7%	93.7
	貧血	4.2%	84.5	15.5%	99.1
喫煙	喫煙	20.5%	96.8	3.0%	*53.5
体重変化	20歳時体重から10kg以上増加	40.3%	*88.6	25.0%	92.0
運動	1回30分以上の運動習慣なし	62.2%	*111.1	67.8%	*112.4
	1日1時間以上運動なし	59.2%	*120.6	59.7%	*128.8
	歩行速度遅い	56.8%	*113.9	58.3%	*116.2
食習慣	食べる速度が速い	29.4%	98.9	25.7%	110.3
	食べる速度が普通	60.2%	96.6	65.2%	95.2
	食べる速度が遅い	10.4%	*130.4	9.1%	111.1
	週3回以上就寝前夕食	20.2%	103.0	9.5%	93.0
	週3回以上朝食を抜く	10.3%	87.8	5.4%	*73.1
飲酒	毎日飲酒	39.1%	*121.6	7.2%	83.5
	週5～6日飲酒	7.3%	*68.2	4.6%	100.3
	週3～4日飲酒	7.4%	86.7	6.5%	109.0
	週1～2日飲酒	9.5%	117.0	7.1%	92.3
	月に1～3日飲酒	6.6%	98.8	8.2%	101.6
	月に1日未満飲酒	5.7%	104.3	6.6%	87.1
	飲酒やめた	6.8%	123.4	3.4%	*142.6
	飲まない	17.6%	*77.0	56.4%	102.4
	1日飲酒量(1合未満)	39.7%	90.1	80.8%	101.5
	1日飲酒量(1～2合)	40.1%	*114.7	16.3%	104.4
	1日飲酒量(2～3合)	15.2%	96.7	2.2%	62.7
	1日飲酒量(3～5合)	4.3%	96.4	0.6%	66.0
1日飲酒量(5合以上)	0.8%	90.0	0.0%	0.0	
睡眠	睡眠不足	24.7%	101.2	29.8%	104.0
行動変容	改善意欲なし	31.4%	101.6	18.5%	*80.3
	改善意欲あり	29.1%	112.1	32.6%	*112.8
	改善意欲ありかつ始めている	11.4%	95.1	12.1%	*79.6
	取り組み済み6ヶ月未満	7.9%	96.2	11.6%	113.9
	取り組み済み6ヶ月以上	20.2%	88.0	25.2%	111.2
保健指導	過去に保健指導を受けたことがある	29.1%	100.0	22.7%	*113.6
口腔機能	咀嚼_何でも	72.9%	94.7	76.9%	95.5
	咀嚼_かみにくい	24.9%	113.9	22.9%	*120.6
	咀嚼_ほとんどかめない	2.2%	*186.4	0.2%	37.9
食習慣	3食以外間食_毎日	15.2%	107.0	33.5%	*120.4
	3食以外間食_時々	54.3%	96.6	54.1%	93.1
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	30.5%	103.2	12.4%	88.2

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比(間接法)を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

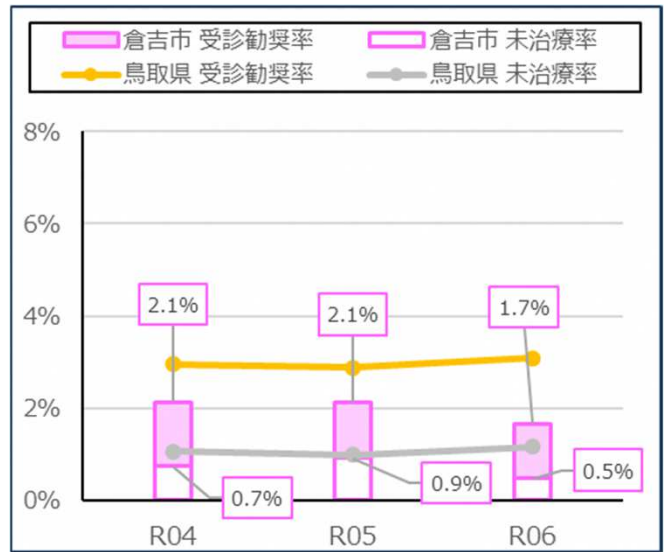
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況(令和6年度)

国保 特定健診異常値受診勧奨者および未治療者の割合

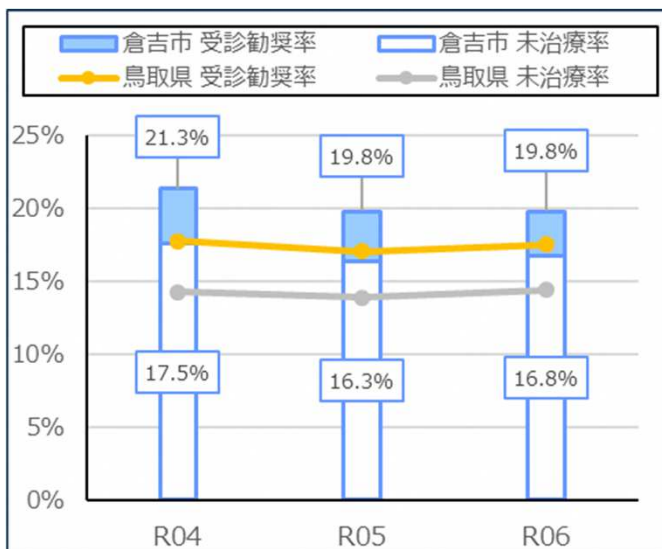
■【男性】（血糖）



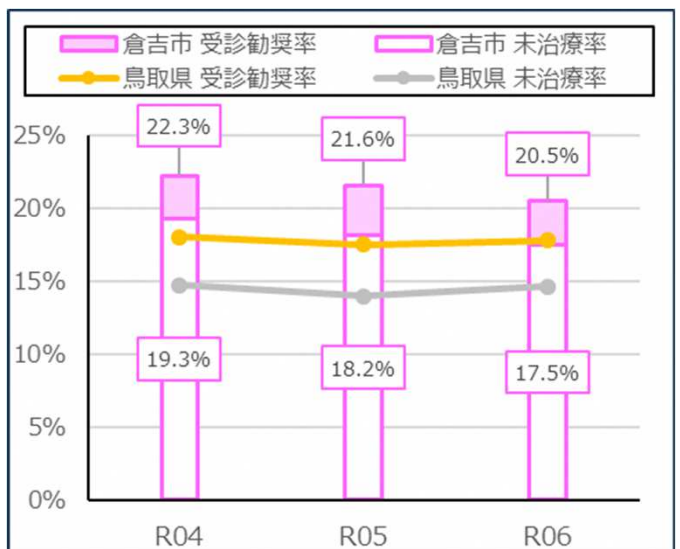
■【女性】（血糖）



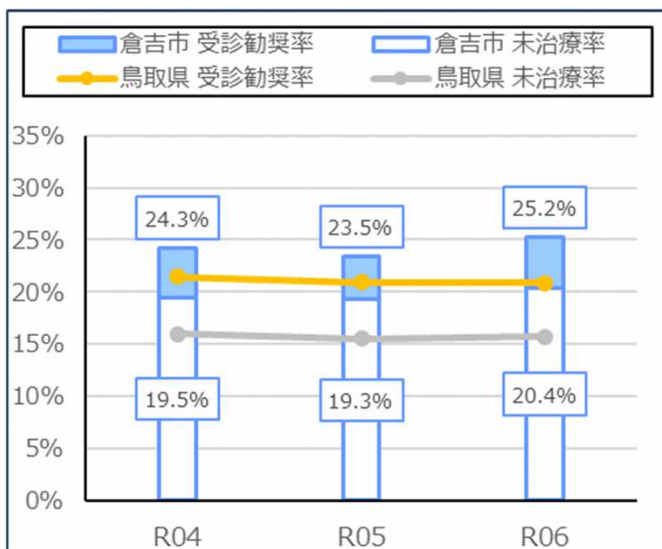
■【男性】（血圧）



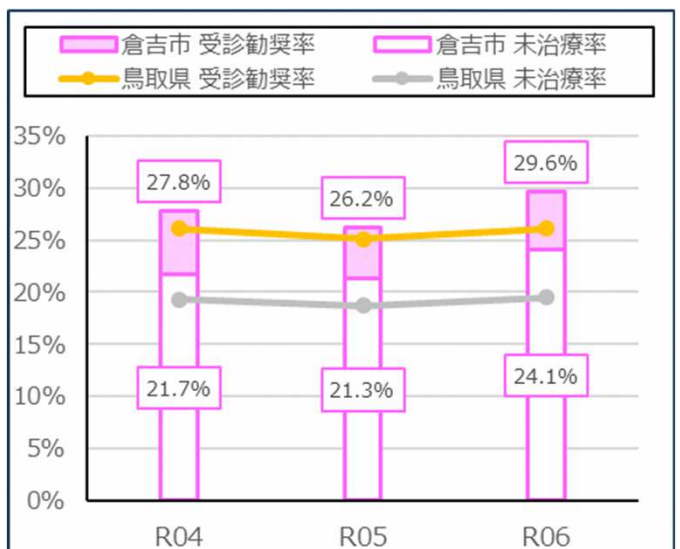
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



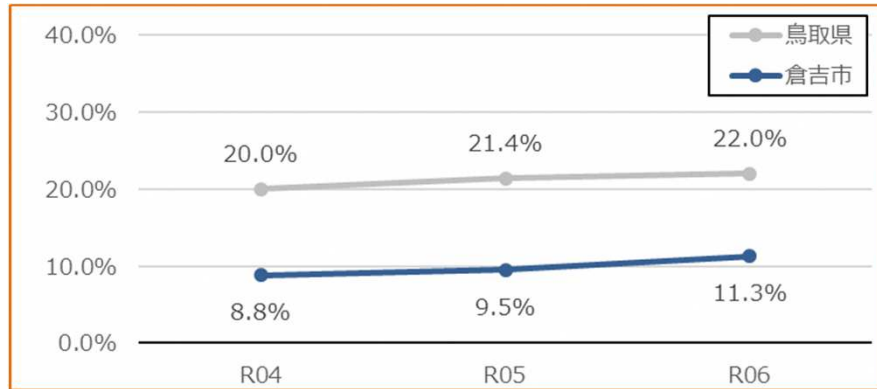
■【女性】（脂質）



※異常値受診勧奨者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定であり、質問票から服薬がない者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

後期 後期高齢者医療健康診査実施率

年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率
		受診者数	実施率	
R04	8,198人	722人	8.8%	20.0%
R05	8,448人	801人	9.5%	21.4%
R06	8,684人	977人	11.3%	22.0%



出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 後期高齢者の質問票回答状況

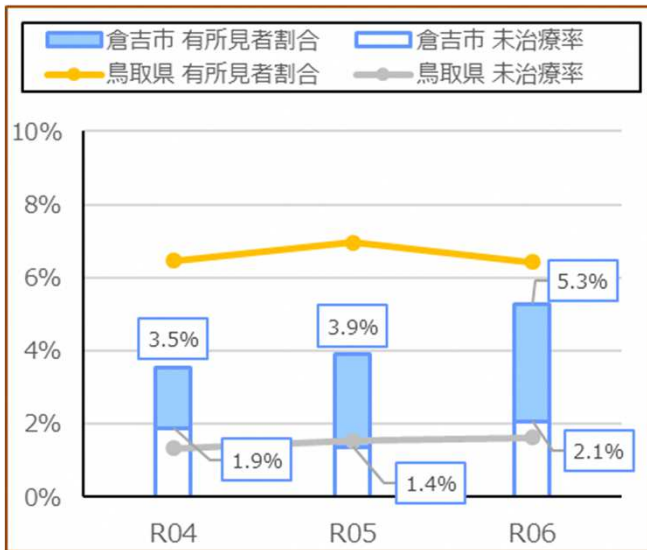
後期高齢者の質問票		男性		女性	
		倉吉市	標準化比	倉吉市	標準化比
健康状態	よい	16.3%	*64.4	17.1%	*79.5
	まあよい	18.1%	93.2	15.5%	89.1
	ふつう	54.1%	*117.1	55.7%	109.0
	あまりよくない	11.2%	*141.2	10.3%	114.7
	よくない	0.2%	22.2	1.4%	142.7
心の健康状態	満足	50.9%	104.0	44.9%	99.0
	やや満足	41.0%	95.7	48.2%	104.4
	やや不満	7.4%	103.0	6.4%	86.8
	不満	0.7%	67.9	0.4%	40.2
食習慣	1日3食きちんと食べる	94.9%	101.1	96.7%	102.1
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	24.7%	106.6	25.1%	98.3
	お茶や汁物等でむせる	19.1%	102.1	23.5%	113.0
体重変化	6ヵ月で2～3kg以上の体重減少	13.5%	113.1	9.6%	87.0
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	54.6%	102.4	51.0%	91.7
	この1年間に転んだ	16.6%	109.9	17.9%	98.1
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	61.7%	91.9	61.5%	97.0
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	15.7%	120.7	9.4%	75.8
	今日の日付がわからない時あり	20.6%	101.1	17.7%	83.6
喫煙	吸っている	7.6%	76.3	0.8%	*34.1
	吸っていない	40.0%	*82.9	95.5%	102.9
	やめた	52.3%	*125.5	3.7%	76.4
社会参加	週に1回以上は外出	94.6%	101.2	97.3%	103.5
	家族や友人と付き合いがある	95.7%	102.5	96.9%	100.0
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	95.5%	101.5	96.1%	99.9

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比(間接法)を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

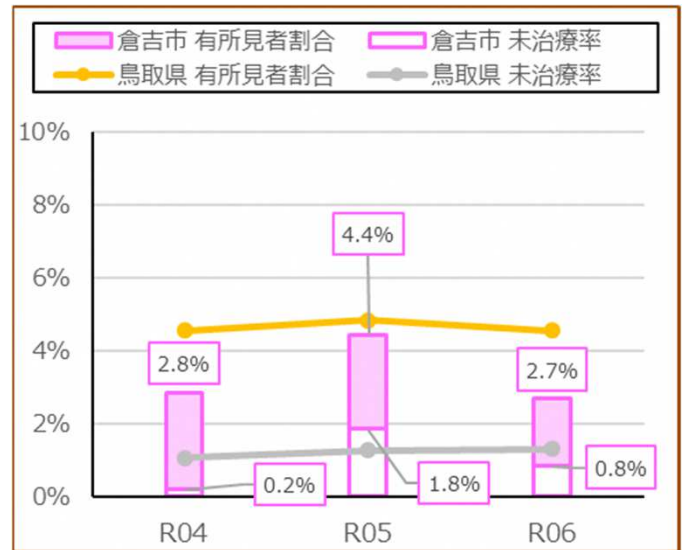
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況(令和6年度)

後期 健診有所見者および未治療者の割合

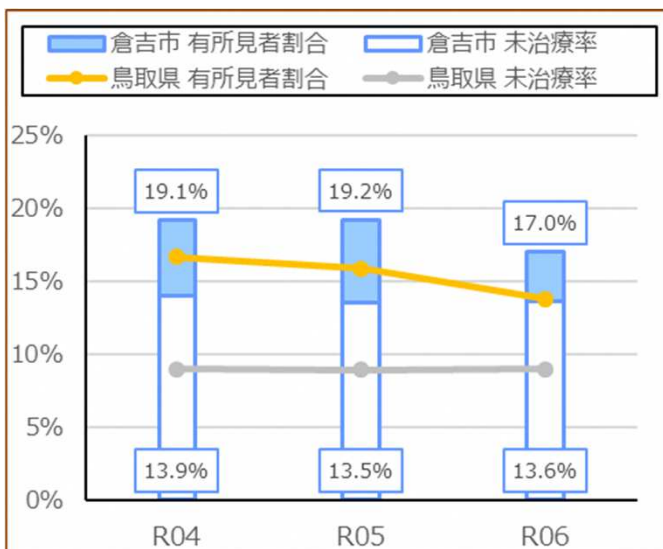
■【男性】（血糖）



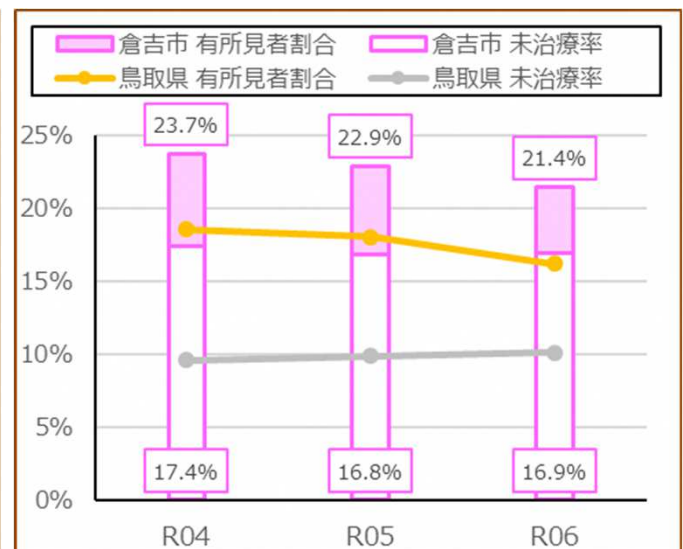
■【女性】（血糖）



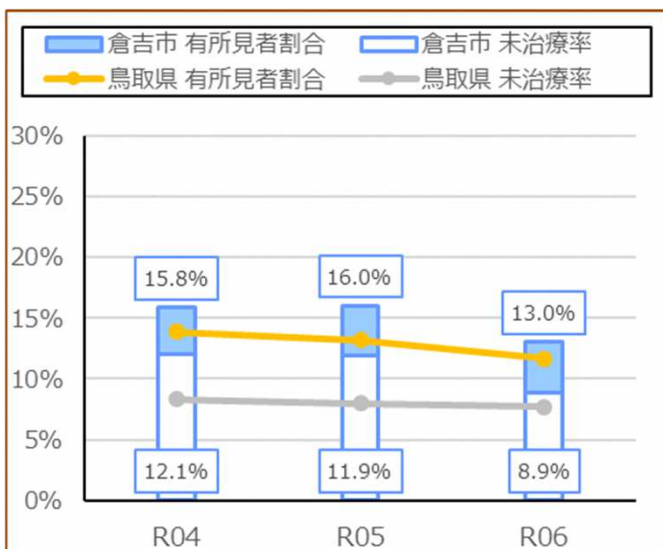
■【男性】（血圧）



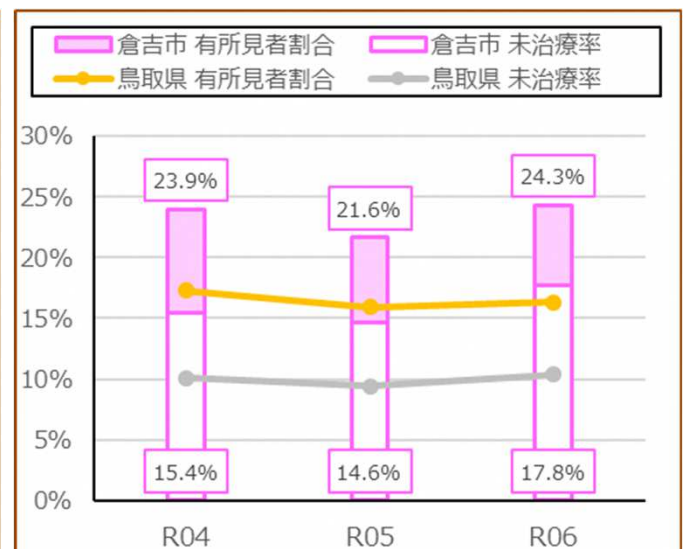
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



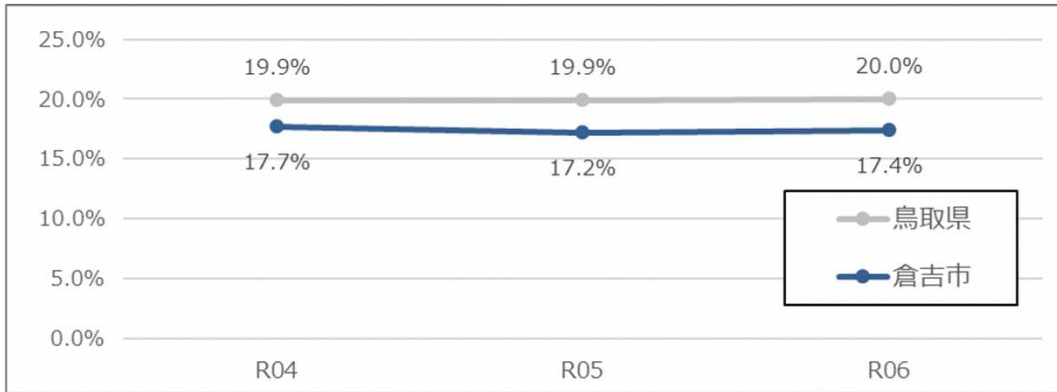
■【女性】（脂質）



※有所見者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定である者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

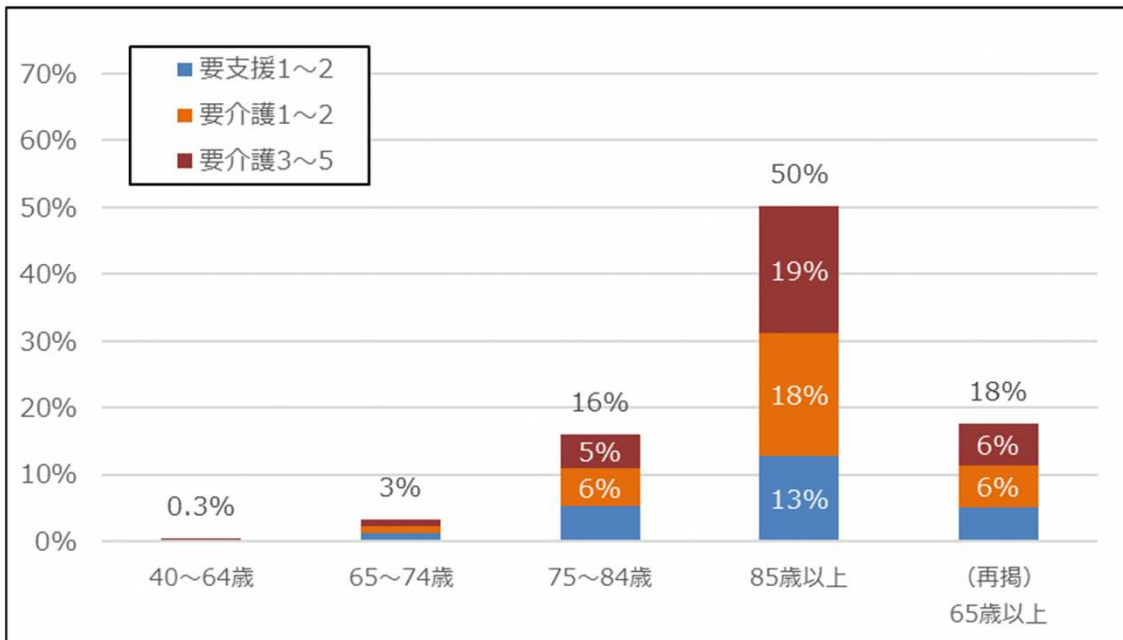
5. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



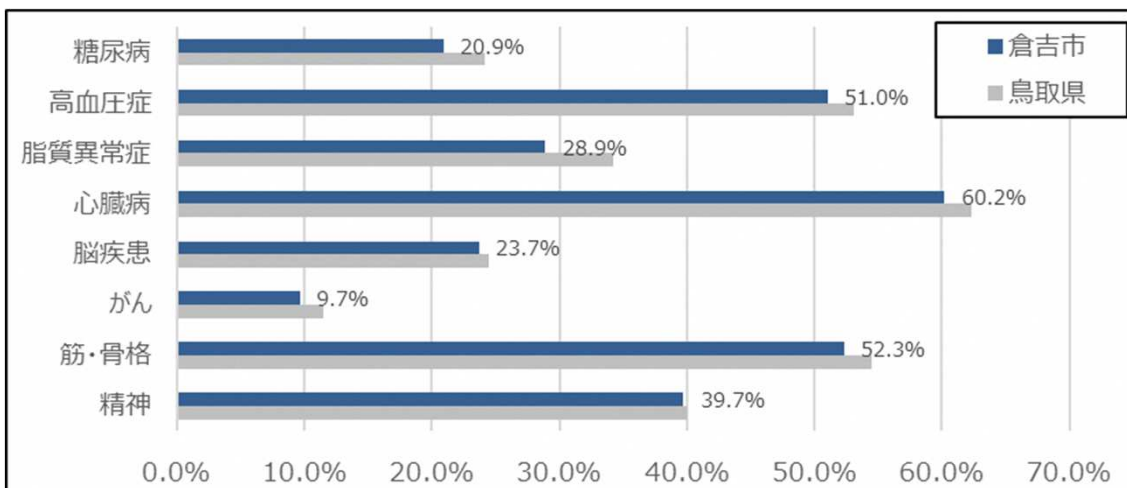
出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 (各年度累計)

■ 年齢階層別要介護認定率



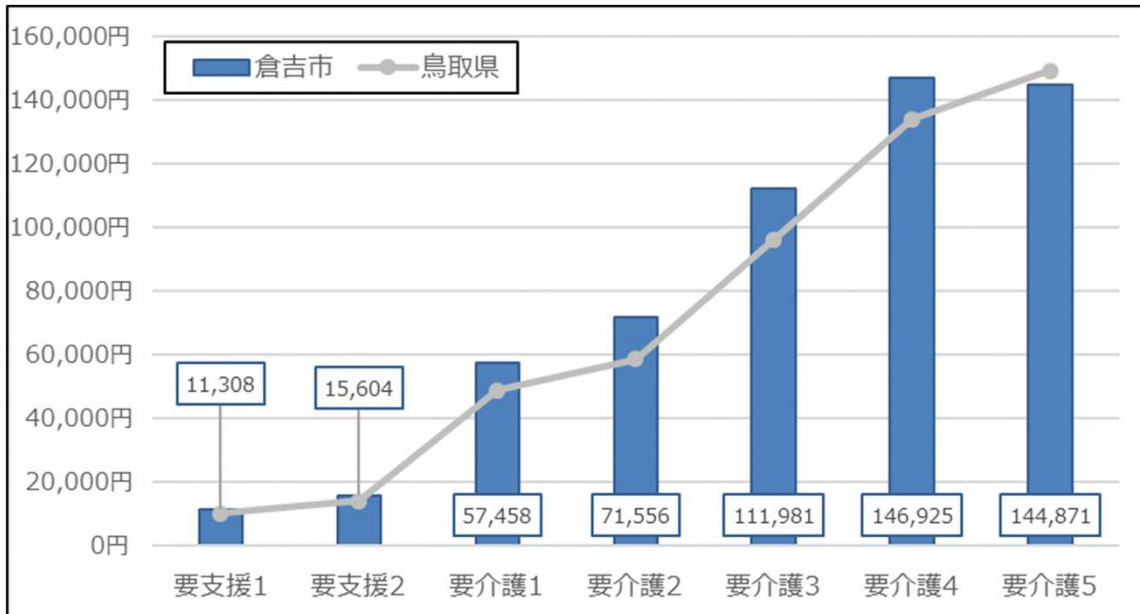
出典:KDB帳票No.47 要介護（支援）者認定状況(令和6年度)

■ 要支援・要介護認定者の有病状況



出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(令和6年度)

■ 要介護度別 1 件当たり介護給付費



出典:KDB帳票No.1 地域の全体像の把握 各年度(令和6年度)

6. まとめ

医療費の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国保の入院医療費は経年的に増加傾向にある。(市P.5) ・国保において、男女ともに新生物が最も高い。(市P.5) ・後期において、男女ともに循環器系の医療費が上位である。(市P.6) ・入院医療費において、女性は国保・後期ともに骨折が上位に入り、後期は男女とも脳梗塞が上位に入る。(市P.10-11) ・国保・後期ともに、腎不全・糖尿病・高血圧性疾患の外来医療費が上位に入る。(市P.10-11)
特定健康診査・特定保健指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診実施率は、経年的に県平均より低く横ばいで推移している。男女ともに65歳未満の実施率が低い傾向にある。(市P.14) ・特定健診の3年連続未受診者・健診未受診者かつ医療機関無受診者の割合が県内上位3番目以内に入る。(県P.49) ・特定健診の質問票において、男女ともに“運動習慣なし”の標準化比が高く、特に男性の“毎日飲酒”、女性の“3食以外間食 毎日”の標準化比が高い。(市P.16) ・後期質問票において、特に男性の“健康状態 よい、まあよい”の標準化比が低い。(市P.18)
介護の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定率は、経年的に県平均より低く横ばいで推移している。(市P.20) ・要介護度別 1 件当たり介護給付費は、要介護 1～4 が県平均より高い。(市P.21) ・新規要介護認定者における脳卒中、認知症の有病率は、県平均より高い。(県P.69)
健康スコアリングから見える課題、助言等	<ul style="list-style-type: none"> ・国保・後期ともに血圧リスクが県平均より高く、後期はやせ、脂質リスクが高いため(県P.72,74-75)、運動や食事習慣を中心とした生活改善が重要であると考えられる。併せて、フレイル対策の推進が必要であると考えられる。